こんなときどうする？？

スイカ栽培Q&A

生産部会の中であった反省や失敗例、質問の一部を、Q&A にまとめました。
場合による内容も多いですが、参考にしてみてください。

※回答は、指導部員で検討した内容です。
※下線部はＲ３年度に追加した内容です。

１　温度管理について

Ｑ１　トンネルを閉めていても寒さにやられたが、低温による被害を最小限に抑える方法は？？

Ａ　**①被覆資材で工夫する。**
→保温力はビニールの方が高い。
上はビニールで下が保温力のあるマルチを使うのが一番良い（破れやすいので注意）。
厚さは、早い時期のトンネルは厚さ 0.65 を推奨します。
推奨資材は推進座談会資料のＰ１８を参照してください。

②風向きに注意して換気する。
→北西の冷たい風や乾いた南風など風向きや風の温度に注意しながら換気の幅や向きを調整しましょう。

Ｑ２　２重トンネルで栽培しているが、トンネルをとるタイミングは？

Ａ　小トンネルは残しておくと焼けてしまうので、つかえてきたら外すイメージで。

Ｑ３　ハウスの内トンネルを外すタイミングは？

Ａ　内トンネルは、交配後の初期肥大を促すため２週間はかけておきましょう（座談会資料Ｐ６、７参照）。
天候を見ながら、北側（北風冷たいので）を開けるのを控える等の工夫を。
つる先側の内トンネルは残して、半分だけ開けた状態で残すだけでも違います。

Ｑ４　換気の判断が難しいです。。

【体験談】温度とりをつけて管理していたが、40℃にならないように気にしすぎて、40℃になる直前でトンネルを開けたら焼けてしまった。その後、温度の上がり具合を意識しながらタイミングを見るようにするとうまくいった。

Ａ（換気例）

極端な管理をすると焼けるので、温度が上がりそうな日は、まず裾を少し開けておいて、温度が本格的に上がってきたら大きく開けるようにしている。心配な時は開けた方がよい。

温度とりを設置して、内気温と外気温の差を見ながら実際に肌で感じ、感覚を身に着けていくとよいです。

天気の変わりやすい時期なので、気象予報をこまめに確認しましょう。

２　整枝・交配について

Ｑ５－１　完全整枝と省力整枝の使い分けは？

【体験談その１】

新しい畑のトンネルが、完全整枝でつるが強すぎて大変だった。
交配がうまくいかなかったものは次の花が外に出てしまった。

Ａ　新しい畑は樹勢が強くなりやすいので、省力整枝をお勧めします。
また、トンネル作型は基本的には省力整枝を推奨しています。

★省力整枝の方法について★

「省力整枝」といっても、人によりいろいろなやり方がありますが、共通してポイントとなるのは、**「植穴付近の株元のやごは常に除去する」ことと、「４本の着果させるつると、着ける雌花がわかるようにすること」です。**

一番多い方法は、１回目のつる引き（７～８節付近の第１花くらいまで）はやごをとって、２回目のつる引き以降は雌花だけとる方法です。

動画マニュアルも参考にしてください。

※トンネルの省力整枝動画⇒２回目つる引き　https://youtu.be/RZEE89x1Fys

最終つる引き　https://youtu.be/Ft-ErKurRKo　**（視点）**

https://youtu.be/7SpOHgJD1Ms　**（横から撮影）**

※交配時に玉まわりのやごもとりましょう。

植穴付近の株元のやごは強くふくのでつる引きの度に除く

Ｑ６　低温に当たって芯が止まった時の対応は？

Ａ　主つるを切って側枝を使います。対応に迷ったら地区の指導員さんに相談しましょう。

芯どまりの可能性のあるつる先の様子

Ｑ７　交配後のやごはどの程度とりますか？

Ａ　基本的にはとりませんが、糖度低下を防止するため玉にかぶってくるような強いやごはとりましょう。
株元は強いやごがふいてくるのでなるべくとるようにしましょう。

Ｑ８　トンネルでパイプ際に着果した場合、中に押し込む？？

Ａ　シート引くときに中に入れます。つる先も防除していれば、中に入れることができます。
トンネルの中の方に入れて温度がかかった方が、秀率も良く美味しいです。

※パイプ際に着果した場合のシートの引き方（動画）

⇒　https://youtu.be/jkK0Wxfhkog（シート敷き：トンネル）

Ｑ９　良い雄花の見分け方は？？

Ａ　花が大きく、葯が脳みそのようにぎゅっとつまっていて、花粉がよくふいているものが良い。

※良い雌花の見方（手交配動画）

⇒　https://youtu.be/H0WDEEcN0JU
（交配：ハウス手交配）

Ｑ１０　交配でとまらなかった時の対処方は？？

Ａ　①引きなおす（つるが強すぎてとまらないときは、つるを引くことによって傷むのでとまりやすくなることもある。）
②交配したいつるをトンネルの中に押し込む。

※トンネルにつるを押し込む方法（動画）
⇒　https://youtu.be/FZyPjoSsJ8k
（交配：※交配がうまくいかず、奥に押し込むとき）

Ｑ１１　遅霜で芯どまりで雄花が飛んでしまった。その際の対処はどうしたらよい？？

Ａ　ハウスがあればハウスの花を使用して手交配します。また、トンネルの中でも良いところから持ってきて手交配します。

３　水管理について　もしくは裂果対策について

Ｑ１２　裂果を防ぐ方法は？水管理で防げる？

【体験談】Ｒ２年５月１２、１３日交配を中心に（青、黄色、黒、白）、６月１４日の雨で割れた。

Ａ　着果後から定期的に潅水をして急激な土壌水分の変化を避けることで、裂果を軽減することはできると考えられますが、潅水で完全に裂果を防ぐのは難しいです。
　また、裂果は花落ち部が大きいほどリスクが高まるので、間引くときにお尻を見て、花落ち部の小さいものを残すようにしましょう。

４　うるみ果の対策について

Ｑ１３　うるみ果を防ぐ方法が知りたい。

Ａ　①遮光資材やホワイトクール等で遮光する。
②つる弱りがうるみ果を助長するので、強いつるを作る。
③強いつるができやすい圃場条件の良いところは定植日を後にまわす。
など・・
詳しくは座談会資料Ｐ８をご覧ください。

５　病害虫について

Ｑ１４　菌核病が多く発生した。菌核病対策が知りたい。

Ａ　防除効果の高いパレード 20 フロアブルを上手に活用しましょう。
花落ち部に花カスが残っているとそこから菌核病が発生しやすいですので、花カスは取るようにしましょう（折らずに引っ張って取った方が傷になりにくいです）。
また、窒素過多で発生しやすいので注意してください。
菌核病が発生しやすいハウスは、定植日を遅くして玉の肥大期に発病適温（１５～２０℃）になることを避けて菌核病のリスクを下げる方法もあります。

Ｑ１５　うどんこ病の対策が知りたい。

Ａ　発生初期（発生前）からの防除を大前提として考えましょう。
発生が見られたら、まず発病が目立つ葉を取り除き、その上でしっかり防除しましょう。（薬剤については座談会資料Ｐ８参照）
畑をよく観察することが大事です。

※うどんこ病は、菌が葉などに付着してから白いカビの症状が見えるまで最短７日と言われています。白い菌が見えた段階ではすでに感染がかなり広がっていることも考えられるので、初期（上の写真）の段階までに防除しましょう。

★うどんこ病の生理生態について★

発生時期：晩春～晩秋（気温 17～26℃）、盛夏期でも多発生する。
症　　状：葉や葉柄、茎などが白色のカビで覆われて、ひどいと葉が黄化し枯れる。
発生条件：ほかの病害と異なり、やや乾燥気味のときに発生しやすい。症状が見られる葉に触れると白い粉がパっと飛び散るが、これは病原菌の分生子で、健全な野菜に付着すると次々と伝染する。
防ぐポイント：適用のある薬剤の散布は有効であるが、多発生してからでは防除しにくい。発病初期に防除するのがコツである。

Ｑ１６　交配後のトンネルの防除の仕方は？株元だけでなくつる先も防除する？？

Ａ　つる先も防除します。トンネルから出た部分などで病気が出やすくなります。
つる先側を閉めたままだと湿度がこもるので、うどんこ病等が出やすいです。うどんこ病が懸念される場合は必ずトンネルの両側を開けて両側からしっかり防除しましょう。

★噴口の種類について★

噴口にはたくさん種類があります。うどんこ病が大発生した R3 年は、しっかり葉裏まで防除するために使用する噴口をいろいろ工夫している方も多かったです。
生育が進み、つるが混んでくると、５頭口などの長いものよりも、３頭口、自在８頭口など噴口数が少ない方が、込み入ったつるに突っ込んで葉裏まで散布しやすいです。

自在８頭口
噴口のサイドを回すと、ストレート～霧状まで調節可能。

Ｑ１８　根こぶ（ネコブセンチュウ）の対応は？

Ａ　土壌消毒（DD、ソイリーンなど）が望ましい。
軽度であればネマキック粒剤などの粒剤やネマキングなどの緑肥でも対策がとれるが、数年に１回は土壌消毒をお勧めする。
※土壌消毒については、推進座談会資料Ｐ１０～１２を参照してください。

Ｑ１７　ダニが止まらなかった。どうすれば防げるか？

Ａ　ダニ対策は剤を変えながらの早めの防除しかありません。
多発した場合はマイトコーネフロアブル等を散布しましょう（使用回数が１回なので注意）。周りの雑草の管理も大事です。
※その他薬剤についてはすいか防除歴を参照

６　その他

Ｑ１８　空洞果を防ぐには？

Ａ　草姿が強すぎると空洞果になりやすいので、交配後も強すぎるやごは除去するなどの管理をしましょう。
　肥大初期の潅水によっても空洞果のリスクが下がりますので、潅水が可能な圃場は灌水チューブを入れて潅水しましょう。
　低節位でも空洞果が出やすいので、４～５番花を狙いましょう。

Ｑ１９　透明マルチで草が多くなってしまった。どの段階で除草剤をしたらよいか？

Ａ　透明マルチは草が生えやすいので、クレマートをしてからマルチをかけるようにしましょう。グリーンマルチ等はクレマートはいりません。
　ハウスの隅の草はザクサを使用している例もあります（ミツバチにも影響なし）。
　また、トンネルは、最終つる引き前に株元とつる先にザクサやバスタを散布している例もあります。

Ｑ２０　ミツバチを入れるタイミングは？

Ａ　最低でも交配の３日前までに、夕方や早朝などの涼しい時間帯に入れます。置いてしばらくすると（１～２時間くらい）、蜂が落ち着くので、落ち着いてから放ちましょう。（夕方置いて、朝放つという意見もありました。

Ｑ２１　シート敷きのベストなタイミングは？

Ａ　間引きは卵大が理想ではありますが、傷つきやすい時期なので気を付けましょう。
持ち上げやすく、シートに置いたときに座りが良い大きさがベストです。

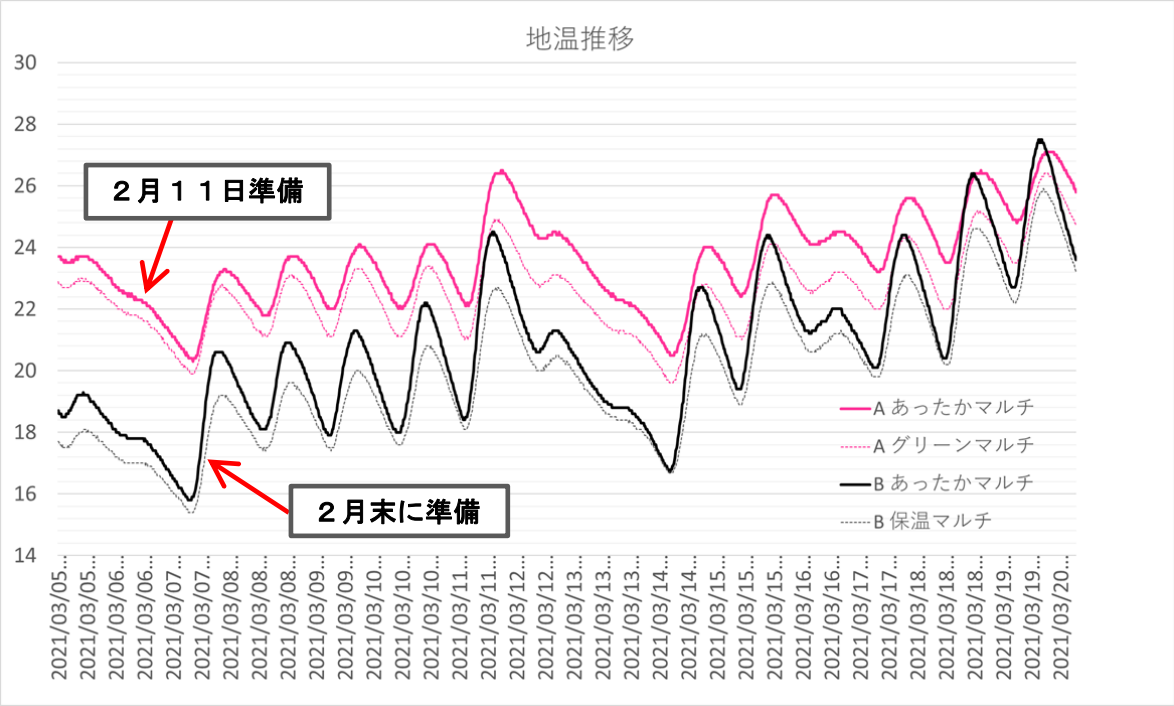
※シート敷きのタイミングについて（動画）

⇒　https://youtu.be/VoFzzySPsPA（シート敷・ハウス）

Ｑ２２　今年からの畑だったが、杭が打てないほど作土層が薄い（スイカの出来もよくない）。保肥力がなく根の張りも悪い。サブソイラでひくのが適切か？

Ａ　作土層を深くするためには、サブソイラよりプラソイラが主流です。プラウは肥料分のない土が上がってくるので一気に深く入れないように気を付けましょう。

★今後事例や質問をたくさん集めて、Ｑ＆Ａに加えていきたいと思っています。よろしくお願いします！！（倉吉農業改良普及所　前田）

【参考】

ハウスの定植準備が定植ギリギリになると、地温がなかなか上がりません。
準備はなるべく早くしましょう。